

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公開番号】特開2020-78318(P2020-78318A)

【公開日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2020-021

【出願番号】特願2020-15937(P2020-15937)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/47	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	7/04	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/768	(2015.01)
A 6 1 K	35/76	(2015.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/47	
C 1 2 N	5/10	Z N A
C 1 2 N	7/04	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	35/768	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月13日(2021.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

SEQ ID NO:2のアミノ酸配列と90、95、98、もしくは100%同一であるアミノ酸配列を有するNタンパク質をコードするNタンパク質遺伝子、SEQ ID NO:3のアミノ酸配列と90、95、98、もしくは100%同一であるアミノ酸配列を有するPタンパク質をコードするPタンパク質遺伝子、SEQ ID NO:4のアミノ酸配列と90、95、98、もしくは100%同一であるアミノ酸配列を有するMタンパク質をコードするMタンパク質遺伝子、SEQ ID NO:5のアミノ酸配列と90、95、98、もしくは100%同一であるアミノ酸配列を有するGタンパク質をコ-

ドするGタンパク質遺伝子、およびSEQ ID NO:6のアミノ酸配列と90、95、98、もしくは100%同一であるアミノ酸配列を有するLタンパク質をコードするLタンパク質遺伝子を含み；かつ異種ポリペプチドをコードする異種ポリヌクレオチド配列をさらに含む、複製能を有する組換えイスファハンウイルス。

【請求項2】

異種ポリヌクレオチド配列は、転写開始シグナルおよび転写終止シグナルと隣接している、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項3】

異種ポリヌクレオチドは免疫原性ポリペプチドをコードする、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項4】

異種ポリヌクレオチドは1種または複数種の抗原をコードし、好ましくは、該抗原は、ウイルス抗原、細菌抗原、腫瘍特異的抗原もしくは癌抗原、寄生生物抗原、またはアレルゲンである、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項5】

抗原はウイルス抗原である、請求項4記載のイスファハンウイルス。

【請求項6】

ウイルス抗原はチクングニアウイルス由来のものである、請求項5記載のイスファハンウイルス。

【請求項7】

異種ポリヌクレオチド配列は、イスファハンウイルスゲノムにおける第1、第2、第3、第4、第5、または第6の転写単位(TU)に配置される、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項8】

Nタンパク質遺伝子は、イスファハンウイルスゲノムにおける第1、第2、第3、第4、または第5のTUに配置される、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項9】

Gタンパク質遺伝子は、カルボキシ末端切断を有するGタンパク質をコードし、好ましくは、該Gタンパク質は、20～25個のアミノ酸のカルボキシ末端切断を有する、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項10】

異種ポリヌクレオチド配列はイスファハンウイルスゲノムにおける第5のTUに配置され、かつNタンパク質遺伝子はイスファハンウイルスゲノムにおける第4のTUに配置される、請求項1記載のイスファハンウイルス。

【請求項11】

請求項1に記載のイスファハンウイルスを含む、宿主細胞。

【請求項12】

請求項1～10のいずれか一項記載の複製能を有する組換えイスファハンウイルス、および薬学的に許容される希釈剤、賦形剤、またはキャリアを含む、免疫原性組成物。

【請求項13】

請求項12に記載の複製能を有する組換えイスファハンウイルスを含む、請求項12に記載の免疫原性組成物を投与することを含む哺乳類対象における抗原に対する抗原特異的免疫応答の誘導において使用するための免疫原性組成物。

【請求項14】

哺乳類対象において抗原特異的免疫応答を誘導するためのプライム-ブースト免疫化キットであって、

(a) 請求項1～10のいずれか一項記載の複製能を有する組換えイスファハンウイルス、および薬学的に許容される希釈剤、賦形剤、またはキャリアを含む、イスファハン組成物；ならびに

(b) Nタンパク質遺伝子、Pタンパク質遺伝子、Mタンパク質遺伝子、Gタンパク質遺伝子

、Lタンパク質遺伝子、および異種ポリヌクレオチド配列をコードする、複製能を有する組換え水疱性口内炎ウイルスであって、該異種ポリヌクレオチド配列は、(i)転写開始シグナルおよび転写終止シグナルと隣接し、かつ(ii)異種ポリペプチドをコードする、複製能を有する組換え水疱性口内炎ウイルス；ならびに薬学的に許容される希釈剤、賦形剤、またはキャリアを含む、水疱性口内炎ウイルス組成物；ならびに

(c)該水疱性口内炎ウイルス組成物の前にまたは後に該イスファハン組成物の投与に関する指示書

を含む、免疫化キット。

【請求項15】

プライム-ブーストレジメンにおいて請求項14記載の免疫原性組成物を投与することを含む哺乳類対象における抗原特異的免疫応答の誘導において使用するための請求項14記載の免疫原性組成物であって、前記水疱性口内炎ウイルス組成物の前にまたは後に前記イスファハン組成物が投与される、免疫原性組成物。